

議員と気軽に語る会 実施報告書②

開催日時	令和6年5月24日(金) 19時30分～20時45分
開催場所	なごみの里山都
対象集落	下三原・柳山寺・中三原・上三原
参加者数	15人
出席議員	班長(橋尾哲夫) 司会(門脇教蔵) 記録(橋尾哲夫) (藤本一昭) (門脇保文) (市位裕文) (廣畑幸子) (清水俊博) (笹倉政芳) (藤原清勝) (内橋志郎) (吉田政義) (日原茂樹)
意見発表	(市位裕文) (門脇保文) (藤本一昭)
意見まとめ	<p>・多可町の大型事業は全て中区に集中して建設している。その計画には総額の説明が多いが、内訳を説明して補助金がどのくらいの金額で、実質町の負担がいくらかを伝えるべきである。</p> <p>・八千代区は廃れている。大和村には以前役場、農協、小中学校もあり、とても繁栄していた。今は見る影もない。今後多可町は八千代区地域をどういうふうにするのか。</p> <p>・「子育てするならダントツ多可町」と言うならもっと精力的に何でも一番を目指すべきではないか。近隣市町をリードするような政策がダントツを意味するのでは。例えば、産後、育休を取って現場復帰するにあたり、0～2歳で保育園に預けると、月6万円以上の保育料がかかる。加西市では保育料が無料ではないか。それぐらいして「ダントツ」ではないか。</p> <p>・出生数が少ない中で、若い子どもたちが転出している。私は52歳で地元子どもたちの就職先がなく不安である。この地域に住んでいる若者は、結局、多可町以外のところに住宅を建てて周辺の市町に居住している。</p> <p>・私は小さい頃から父に「お前は跡継ぎや跡継ぎや」と言われて育ちました。多可町にはハード・ソフト面において町の魅力があるのか。1人1人の声を本当に聞いてもらっているのか不満である。大和地域は多可町でも端の区域になっており、少しはハード・ソフト面を整備すること。</p> <p>・現在「村づくり」を担当しているが村づくりの予算の配分が少なく、行事を実行しようとしても予算の補助が不足している。もっと地域振興に力を入れるべきである。住民の数が減少し個人の負担が増え、集落運営等が停滞している。役員のなり手不足が深刻で、当然消防団による消化活動に支障が出た。</p> <p>・八千代区は道が狭いので道路の拡幅が急務である。三室バイパスの現状</p>

報告がある。落石があったのでフェンスの設置が必要。道路沿い路側帯の雑草がすごく伸びて視野に入り危険である。道路沿いの桜の枝が通行の妨げになっている。思い切った伐採すること。

・田舎で犯罪に狙われてやすいため、防犯カメラが必要。大和地区ではトンネルが2本あるため防犯カメラが5か所必要。防犯カメラの補助金が出るよう早急に設置すること。大和から加西市河内に抜け、加西の高速道路に行ける道路が必要。早期に期成同盟を結び着工すべきである。

・議員が当局からの説明に対し、イエスマンになっていないか。議会の捉え方を聞きたい。各議員の意見が必要ではないか。住民の代表としての立場を理解して発言してほしい。

令和6年6月13日

多可町議会議長 日原茂樹 様

報告者 橋尾哲夫